

## 搬送法 … 傷病者の搬送方法

### はじめに

応急手当を終えた傷病者を搬送したり、危険な場所にいる傷病者を安全な場所に移動させる場合の方法です。搬送中は動揺や振動を少なくし、傷病者に苦痛を与えず安全に搬送することが大切です。

### 徒手搬送法（担架を用いない搬送法）

- 担架が使えないような場所、担架がない場合、または緊急に安全な場所へ移動させる必要がある場合に用いられます。

徒手搬送は慎重に行っても傷病者に与える負担が大きいため必要最小限にとどめましょう。

#### ○ 1人で搬送する方法



- 背部から後方へ移動する方法です。おしりを吊り上げるようにして移動させます。



- 背部から後方へ移動する方法です。傷病者の身体を包んだ毛布やシーツごと引っ張って移動させます。胸部を圧迫することが多いので注意して下さい。



[背負い搬送法]



[担ぎ上げ搬送法]



[横抱き搬送法]

- 背負い、担ぎ上げや横抱きにより移動する方法です。背負いでは傷病者の腕を交差するか平行にさせて両手をもって搬送します。担ぎ上げは片方の手が自由に使える搬送方法です。横抱きは子供や小柄な人を搬送するのに向いています。

※ 1人での搬送は傷病者への負担が大きいためだけでなく、自分への負担もかなり大きいため無理はせずに、できる限り複数人での搬送を心がけましょう。

## ○ 2人で搬送する方法



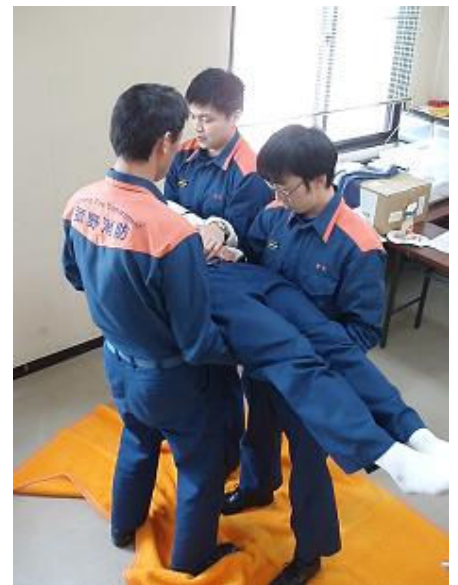
■ 傷病者の前後をかかえて移動する方法です。

■ 手を組み膝の下を持って移動する方法です。

※ 傷病者の首が前に倒れる恐れがあるので注意します。

2人がお互いに歩調を合わせ、傷病者に動揺を与えないようにします。

## ○ 3人で搬送する方法



傷病者の下に十分腕を入れます。

一旦持ち上げ膝の上に乗せます。

頭側の人の合図で同時に立ちます。

■ 傷病者の下に腕を入れて持ち上げる方法です。

写真のように片膝をついて座り傷病者の下に十分腕を入れます。

持ち上げる時は頭側の人合図をして3人が同時に行動するようにしましょう。

※ 背中にケガをしている場合は横向きやうつぶせのまま運びます。

## 担架搬送法（担架を用いた搬送法）

- 担架、応急的に作成した担架、および担架の代用品（戸板や長机など）を用いて行う搬送方法です。原則として足側を前にして搬送しますが急な坂道を上り下りする時には傷病者に負担をかけないため頭側を高くして搬送します。

### ○ 簡易担架の作成方法

#### ■ 毛布で作る担架



1. 毛布の3分の1ほどの所に棒を置き棒を包み込むように折り返します。
2. 折り返した毛布の端にもう1本の棒を置きさらに折り返すと完成です。

#### ■ 服で作る担架 / ロープで作る担架 / 毛布だけの担架



服の両袖を棒に通します。



ロープを8の字に通します。



毛布の両側を巻き込みます。

### ○ 担架搬送の注意点

- 担架で人を持ち上げる際、注意しなければいけないのが腰のケガです。左の写真の持ち上げ方では腰を痛めてしまうので右の写真のように背筋を伸ばして持ち上げましょう



危険です！



背中が一直線になるようにしましょう。